

# 清き郷石狩の

(昭和十五年桜星会三十周年記念歌)

岩崎五郎君 作歌  
呉泰治郎君 作曲

一

清き郷石狩の曠野に  
うち立てし先人が跡  
乾坤に時光流れて  
今ぞなる三十年の崇高き青史よ  
讃へなん いざ  
若き血潮 燃ゆる理想  
世を覺醒し世を導かん  
傳統の榆鐘高く鳴るなり

二

黒き雲世に狂へども  
守り來し正義の精神  
青春の生命捧げて  
恵ぬなり幽遠なる眞理の秘奥  
高唱はなん いざ  
熱き感激 たぎる憧憬  
美しく強く生かばや  
雄叫びは高く湧くなり

三

天地に暴風雨吹ゆるも  
東洋に夜は黎明んとす  
世界を救ふ大理想もて  
うち立てん永劫の平和の大旆  
叫ばなん いざ  
湧ける激情 あがる歡喜  
楡の舎の健兒我等は  
生ける證に胸に湧くなり

四

悠久の時の移ろひ  
青春のこの瞬間を  
星辰澄きエルムの園に  
過すなり涯際なき神秘の懷中に  
仰がなん いざ  
清き生命 高き意欲  
先人の遺せし教訓  
我等が魂強く打つなり